

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申しあげます。なお、この取扱説明書は大切に保存し必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

（下記は、絵表示の一例です。）



このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

目 次

1. 主な特徴	5
2. 各部の名称	6
3. ご使用になる前に	8
4. 基準位置合わせ	10
5. 時刻を電子音で確認する方法 (ミニッツリピーター)	13
6. 時刻とカレンダーの合わせ方	15
7. デイリーアラーム (H-AL)	20
8. ローカルタイム (L-TM)	22
9. ローカルアラーム (L-AL)	23
10. 秒修正機能 (O-SET)	25

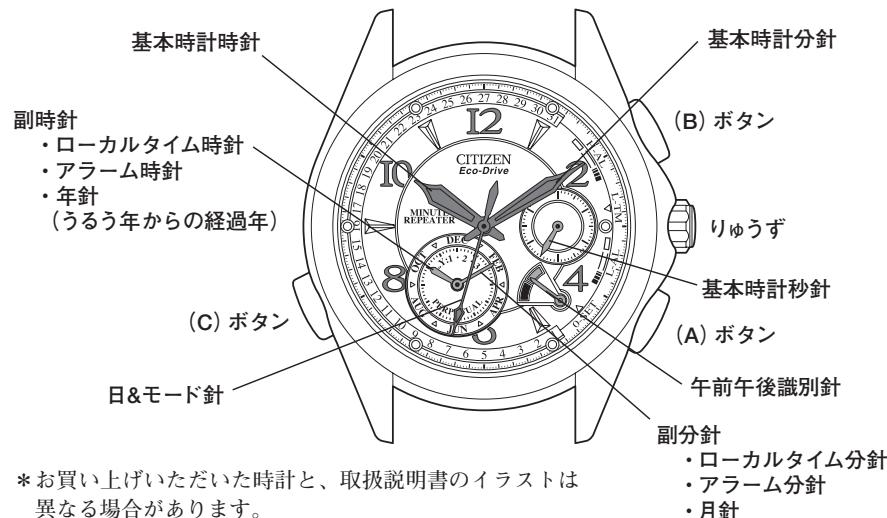
11. ソーラーパワーウオッチ特有の機能について	28
12. ソーラーパワーウオッチ充電時間の目安	30
13. お取り扱い上のご注意	32
14. 二次電池の交換について	33
15. このような場合には	34
16. お取り扱いに当たって	36
17. 保証とアフターサービスについて	44
18. 製品仕様	46
19. お問い合わせ窓口	48

1. 主な特徴

この時計は、電子音で時刻をお知らせする『ミニッツリピーター(時刻報時機能)』のほかに、

1. うるう年を含めカレンダーを自動修正する『フルオートカレンダー』
 2. 毎日設定時刻にアラーム音が鳴る『デイリーアラーム』
 3. 時差のある地域、外国の時刻を表示する『ローカルタイム』
 4. ローカルタイムで設定した地域、外国の時刻を基準に毎日設定時刻にアラーム音が鳴る『ローカルアラーム』などの多機能を搭載しています。
- さらに、文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させる、光発電機能を持ったソーラーパワーウオッチです。

2. 各部の名称



ボタン	主な操作
(A) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ローカルタイムセット 年、月セット 年、月呼び出し
(B) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 時刻報時 日針セット アラーム ON/OFF
(C) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> モード切り替え 基準位置確認

【注意】

副時針と副分針が連続で運針しているときは、(A) (B) ボタンを押してもスイッチが入りません。針が止まつたことを確認してから再度ボタン操作をしてください。

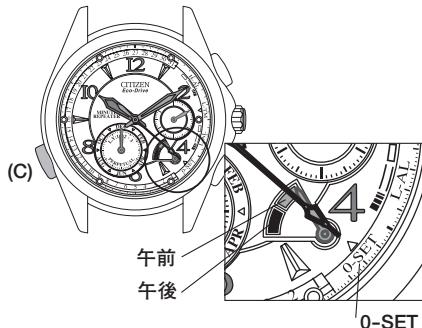
3. ご使用になる前に

ご使用になる前に、各機能を正しく作動させるために、次の方法で各針の基準位置を確認してください。

基準位置とは……この時計が正しく機能するための、各針の初期位置のことです。

1. 基準位置確認

- (1) りゅうずを通常位置にします。
・日＆モード針が基準位置確認モード『0-SET』に移動するまで、(C) ボタンを約3秒以上押してください。
・各針が下記の位置を示すことを確認します。
 日＆モード針 : 0-SET
 副時針、副分針 : 12時00分位置
 午前午後識別針 : 午前の枠の上段



- (2) 基準位置確認ができたら、(A) (B) (C) いずれかのボタンを押して時刻表示にもどします。

なお、ボタン操作を行わないと20秒後に自動的に時刻表示にもどります。

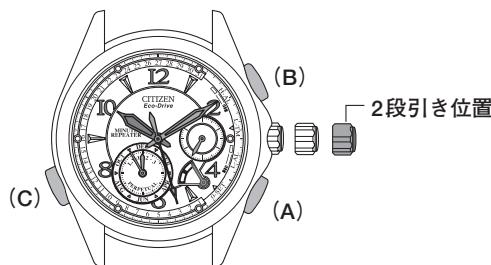
* 各針が基準位置を示さない場合は、次ページの“4. 基準位置合わせ”に従って各針の基準位置を合わせてください。

4. 基準位置合わせ

基準位置がずれていいると、各機能が正しく作動しません。このような場合は、次の手順で基準位置合わせを行ってください。

1. オールリセットをします

- (1) りゅうずを2段引き位置にします。
- (2) (A) (B) (C) の3つのボタンを同時に2秒以上押します。
- (3) ボタンを離すと、日&モード針
→副時針、副分針の順で往復運動します。運針終了後、確認音が鳴ります。
・続いて基準位置合わせをしてください。



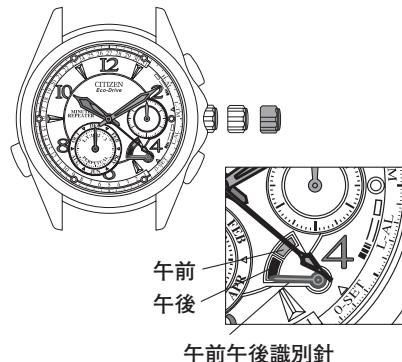
オールリセット後、基準位置合わせを行わずにりゅうずを通常位置または1段にもどすと『基準位置設定未完了警告』となり“日&モード針”が反時計まわりに運針し基準位置がセットされていないことをお知らせします。
再度りゅうずを2段引き位置にし、『基準位置合わせ』を行ってください。

2. 基準位置合わせをします

- (1) (A) ボタンを押して“副時針と副分針”を12時00分位置に合わせます。

【注意】

- ・午前午後識別針が午後の枠の下段を指すまで副時針、副分針を運針させてください。午前午後識別針は副時針、副分針に連動して動きます。

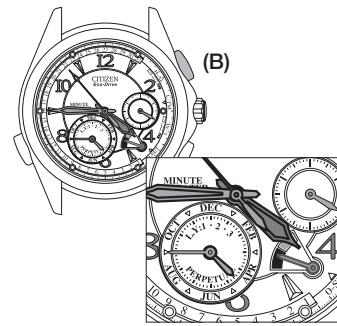


- (2) (B) ボタンを押して“日＆モード針”を『0-SET』位置に合わせます。
 　・(A) (B) ボタンとも押し続けると、針が連続で運針します。
- (3) りゅうずを必ず通常位置にもどします。
 　・午前午後識別針が午前の表示に移動します。

※基準位置合わせ後、必ず時刻（基本時計と副時計）と、カレンダーを合わせ直してください。

5. 時刻を電子音で確認する方法（ミニツツリピーター）

- ・時刻（時、分）を電子音でお知らせする便利な機能です。



【確認方法】

- * 時刻モードで (B) ボタンを押すと、現在時刻を電子音でお知らせします。
 　・りゅうずは通常位置です。

〈時刻の鳴り方〉

時の鳴り方：時の数だけ「高い音」が鳴ります（午前午後の識別はありません。午前午後識別針の位置で確認してください）。

分の鳴り方：15分単位で「高い音+低い音」が鳴り、端数は「低い音」が端数分鳴ります。

〈例〉

副時刻が4時48分の場合（午前午後は午前午後識別針で確認してください）

- 4時：「高い音」が4回（1時間×4回）鳴ります。
- 45分：「高い音+低い音」が3回（15分×3回）鳴ります。
- 3分：「低い音」が3回（1分×3回）鳴ります。

6. 時刻とカレンダーの合わせ方

1. 基本時計の時刻合わせ

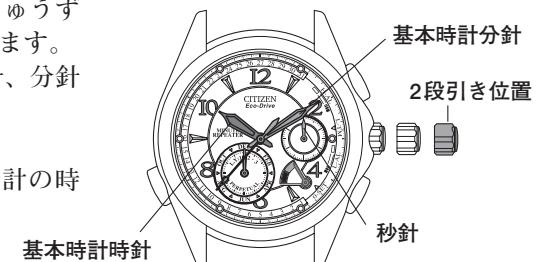
基本時計の時刻合わせを行ったら、必ず副時計の時刻を基本時計の時刻に合わせてください。

基本時計と副時計の時刻が合っていないと、ミニッツリピーターやアラーム機能が正しく作動しません。

- (1) 秒針が0秒にきたときに、りゅうずを2段引き位置まで引き出します。
- (2) りゅうずを右回転させて時針、分針を合わせます。

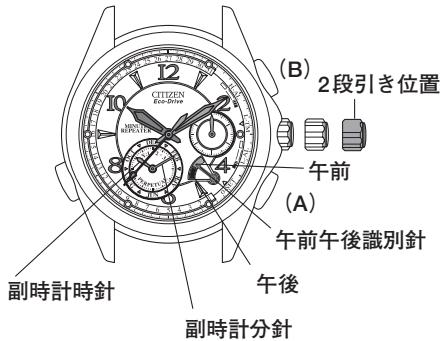
【注意】

- ・ 続けて副時計の時刻を基本時計の時刻に合わせてください。



2. 副時計の時刻合わせ

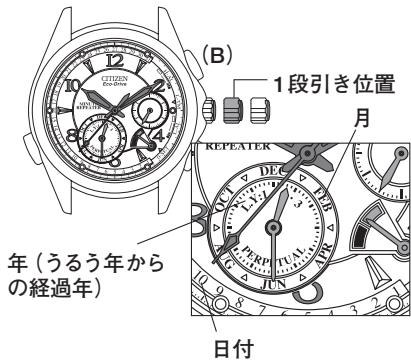
- (1) (A) ボタンを押して、副時計の時刻を基本時計の時刻に合わせます。
りゅうずは2段引き位置です。
 - ・(A) ボタンは押し続けると、針が連続で運針します。
 - ・午前午後識別針の位置を確かめて、午前午後をまちがえないように合わせてください。
- (2) 時報などに合わせて、りゅうずを通常位置に押し込めば、基本時計と副時計が0秒から動きだします。



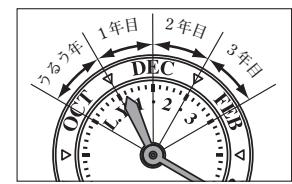
・基準位置設定後、基本時計の時刻を合わせたあと、続けて副時計の時刻を合わせないと、「時刻修正未完了警告機能」が働いて『日&モード針』が正回転で早送りします。

3. カレンダーの合わせ方

- (1) りゅうずを1段引き位置にします。
 - ・副時針が『年(うるう年からの経過年)』を表示し、副分針で『月』を表示します。
 - ・日&モード針が日付を表示します。
- (2) (A) ボタンを押して、月、年(うるう年からの経過年)を合わせます。
 - ・1回押す毎に1カ月分進みます。
 - ・うるう年から3年目の、12月を表示後はうるう年の1月に自動的に針がもどります。
- (3) (B) ボタンを押して日を合わせます。
 - ・ボタンを1回押す毎に1日分進みます。
 - ・(A) (B) ボタンとも、押し続けると針が連続で運針します。



<年(うるう年からの経過年)の見方>



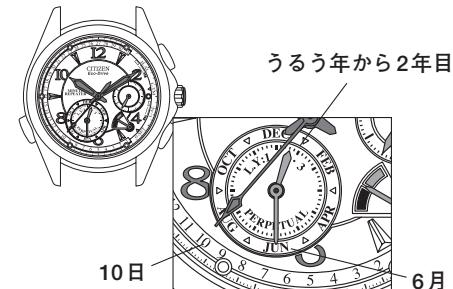
(4) 正しく合わせたら、りゅうずを通常位置にもどします。

〈カレンダーの呼び出し方法〉

- * 時刻モードで (A) ボタンを約2秒押すと、副時計がカレンダー表示にかわります。
 - 副時針：『年(うるう年からの経過年)』を表示します。
 - 副分針：『月』を表示します。
- ・ カレンダー表示後、約20秒経つと自動的に時刻表示にもどります。
また、(A) (B) (C) いずれかのボタンを押しても時刻表示にもどります。

〈例〉カレンダーの読み方

『うるう年から2年目の6月10日』を表示した場合



〈うるう年経過年早見表〉

年	経過
2004年	うるう年
2005	1年目
2006	2年目
2007	3年目
2008	うるう年
2009	1年目
2010	2年目

7. デイリーアラーム (H-AL)

- 一度アラームをセットすると、毎日設定時刻にアラーム音が鳴ります。

1. アラーム時刻の合わせ

(1) (C) ボタンを押して、日＆モード針を「H-AL」(ONまたはOFF) に合わせてください。

・副時針と副分針がすでにセットされているアラーム時刻に切り替わります。

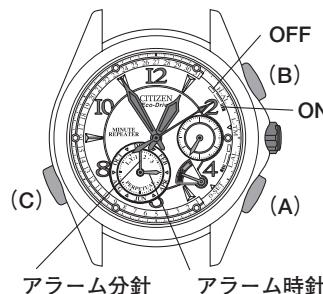
副時針：アラームの『時』を表示します。

副分針：アラームの『分』を表示します。

(2) (A) ボタンを押して、副時針と副分針をセットしたいアラーム時刻に合せます。

・(A) ボタンを押し続けると、針が連続で運針します。

・(A) ボタンを押すと、日＆モード針がアラームONの位置に移動します。



- 午前午後識別針の位置を確かめて、午前午後を間違えないように合わせてください。

【注意】

- 約1分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻表示にもどります。

2. アラームの“ON、OFF”切り替え

- 『H-AL』モードで、(B) ボタンを押すと、押す毎に“ON”“OFF”が切り替わり日＆モード針が移動します。

3. アラーム音の止め方

- アラーム音が鳴っているときに、(A) (B) (C) いずれかのボタンを押すと、アラーム音が止まります。

4. アラーム音モニター

- 『H-AL』モードで、(B) ボタンを約2秒押すとアラーム音が確認できます。

8. ローカルタイム (L-TM)

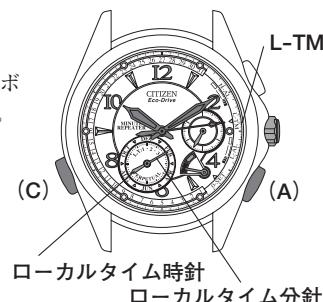
- 他の地域や国の時刻をセットできる機能です。
- 副時計の時刻を基準に、30分単位で設定できます。

1. ローカルタイムの合わせ方

- (C)ボタンを押して、日＆モード針を「L-TM」に合わせてください。
 - 副時針と副分針がすでにセットされているローカルタイム時刻に切り替わります。
副時針がローカルタイムの『時』を表示します。
副分針がローカルタイムの『分』を表示します。
 - 日＆モード針がL-TMに移動します。
- (A)ボタンを押すと、押す毎に30分ずつ進みます。(A)ボタンを押して、セットしたい地域の時刻に合わせます。
 - (A)ボタンを押し続けると、針が連続で運針します。
 - 午前午後識別針の位置を確かめて、午前午後を間違えないように合わせてください。

【注意】

- 約1分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻表示にもどります。

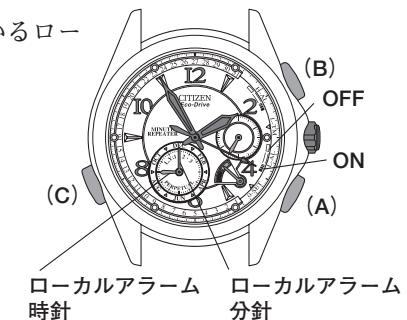


9. ローカルアラーム (L-AL)

- 一度セットすると、ローカルタイムで設定した地域や国の時刻を基準に、毎日セット時刻にアラーム音が鳴ります。

1. アラーム時刻の合わせ方

- (C)ボタンを押して、日＆モード針を「L-AL」(ONまたはOFF)に合わせてください。
 - 副時針と副分針がすでにセットされているローカルアラーム時刻に切り替わります。
副時針がローカルアラームの『時』を表示します。
副分針がローカルアラームの『分』を表示します。
- (A)ボタンを押して、副時針と副分針をセットしたいローカルアラーム時刻に合わせます。



- ・(A)ボタンを押し続けると、針が連続で運針します。
- ・(A)ボタンを押すと、日＆モード針がアラームONの位置に移動します。
- ・午前午後識別針の位置を確かめて、午前午後を間違えないように合わせてください。

【注意】

- ・約1分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻表示にもどります。

2. アラームの“ON、OFF”切り替え

- ・『L-AL』モードで、(B)ボタンを押すと、押す毎に“ON”“OFF”が切り替わり日＆モード針が移動します。

3. アラーム音の止め方

- ・アラーム音が鳴っているときに、(A) (B) (C) いずれかのボタンを押すと、アラーム音が止まります。

4. アラーム音モニター

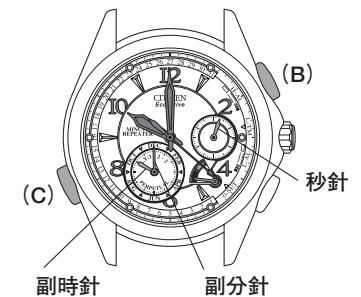
- ・『L-AL』モードで、(B)ボタンを約2秒押すとアラーム音が確認できます。

10. 秒修正機能 (O-SET)

- ・基本時計と副時計の『秒』を同時に、時報などの基準時計の時刻(秒)に合わせる便利な機能です。
時報などに対して『秒』の進みや、遅れが生じたときにご使用ください。

1. 基準時計などの『秒』に合わせる手順

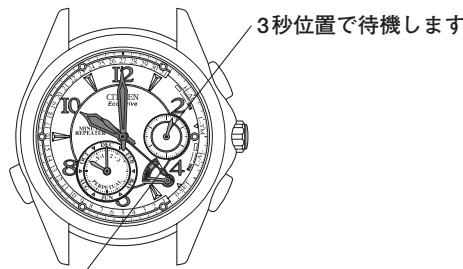
- (1) (C)ボタンを押して、日＆モード針を「0-SET」に合わせてください。
 - ・副時針と副分針が現在時刻を表示します。
- (2) 基準時計などの時報に合わせて(B)ボタンを押してください。
 - * 時計の秒針の位置によって針の動きが異なります。



①秒針の位置が0～29秒のとき(基準時計に対して進んでいるとき)

- ・秒針：その場で進んでいる時間(秒)待機します。
(たとえば：3秒進んでいる場合は、3秒間その場で待機します)
- ・日＆モード針：進んでいる秒と同じ数の日付のところまで逆転し、そこからカウントダウンをはじめます。
(たとえば：3秒進んでいる場合は、日付の3のところまで逆転してからカウントダウンします)

〈たとえば：基準時計に対して3秒進んでいる場合〉



日付の3の位置まで逆転しカウントダウンを開始します。

②秒針の位置が30～59秒のとき(基準時計に対して遅れているとき)

- ・秒針：0秒位置にもどり運針をはじめます。
- ・日＆モード針：0-SET位置で待機します。

カウントダウン動作

- ・秒修正で(B)ボタンを押したときに、秒針が0～29秒の位置にあった場合に、日＆モード針で秒針が動き出すまでの時間をお知らせする動作です。

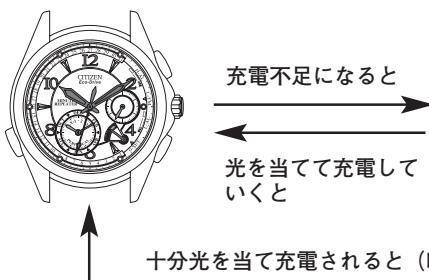
【注意】

- ・約2分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻表示にもどります。

11. ソーラーパワーオッヂ特有の機能について

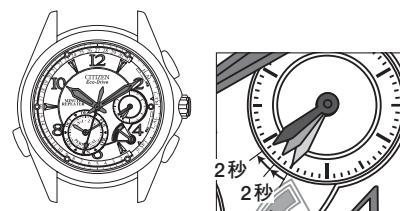
*充電不足になると表示が次のように切り替わります。

【通常時刻表示】



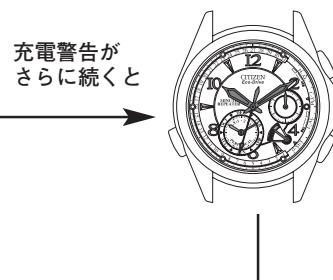
【充電警告表示】

秒針が2秒運針します。早めに充電しもとの通常時刻表示(1秒運針)にもどしてください。



【充電不足で停止】

秒針が0秒で停止し、その他の針は充電不足になった時刻で停止します



*充電不足で停止した場合は、光を当てても時計が動きだすまで、最短で約30分かかります。

〈充電警告機能〉

- ・秒針が1秒運針から2秒運針に切り替わり、充電不足になったことをお知らせします。
2秒運針をはじめてから約5日経過すると、充電不足で時計が止まります。

〈過充電防止機能〉

- ・ソーラーセルに光が当たり、二次電池がフル充電になると、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。
どんなに充電しても二次電池や、時間精度、機能、性能等に影響をおぼすことはありません。

12. ソーラーパワー オッヂ充電時間の目安

- ・時計のモデル（文字板の色など）により充電時間は異なります。あくまでも目安としてご利用ください。

照度 (ルックス)	環境	充電時間		
		1日分の 充電時間	停止状態から 1秒運針する までの時間	フル充電時間
500	屋内照明	約4時間	約40時間
1,000	蛍光灯(30W)の下 60cm～70cm	約2時間	約17時間
3,000	蛍光灯(30W)の下 20cm	約40分	約6時間	約180時間
10,000	曇天	約15分	約2.5時間	約70時間
100,000	夏の日の直射日光下	約3分	約45分	約10時間

- ・1日分の充電時間：時計が1秒運針のときに1日動かすのに必要な充電時間。
- ・フル充電時間：時計が充電不足で停止している状態から最大に充電されるまでの時間。

【注意】

フル充電後、一度も充電されないと、持続時間は約9カ月となります。充電不足で停止してしまうと、表のように時計が動き出すまでに時間がかかりますので、毎日の充電を心掛けてご使用ください。なお、月に一度は直射日光を当てて充電されることをおすすめいたします。

13. お取り扱い上のご注意

【時計は常に充電を心掛けてお使いください】

日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当らないため充電不足になりやすいのでご注意ください。
特に冬場は充電に心掛けてください。

⚠ 注意 充電上の注意

- 充電の際に時計が高温になると、外装部品の変色、変型およびムーブメント部品の故障等の原因となります。
高温下(約60°C以上)での充電は避けてください。
例)
 - 白熱灯、ハロゲンランプなど高温になりやすい光源に時計を近付けての充電。
 - 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。
- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい光源で充電するときは、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を絶対に取り出さないでください。
- やむを得ず取り出した場合は、誤飲防止のため幼児の手の届かない所に保管してください。
- 万一、飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 二次電池交換が必要な場合は、修理依頼をしてください。

14. 二次電池の交換について

- 二次電池の交換は不要ですが、まれに充電不良が発生する場合が予測されます。万一、不具合が生じたときは、速やかに修理依頼をしてください。

15. このような場合には

1. 日＆モード針が逆回転しているとき

- ・オールリセット後の基準位置合わせができていないため、『基準位置未完了警告機能』が働いています。
「4. 基準位置合わせ」を参照して“オールリセット”および“基準位置合わせ”を行ってください。

2. 各モードで針が正しい位置を示さない場合

- ・時計に強い衝撃などが加えられると針の基準位置がずれる場合があります。
「4. 基準位置合わせ」を参照して“オールリセット”および“基準位置合わせ”を行ってください。

3. 時計が異常な表示や動作をした場合

- ・静電気の影響や強い衝撃等により、ごくまれに異常な表示や動作（針がまわりっぱなしなど）をすることがあります。このような場合は、「4. 基準位置合わせ」を参照して“オールリセット”および“基準位置合わせ”を行ってください。

4. 日＆モード針が正回転で早送りしている場合

- ・基本時計の時刻合わせ後、副時計の時刻合わせを行わなかったため、『時刻修正未完了警告機能』が働いています。「6. 時刻とカレンダーの合わせ方」を参照して、副時計の時刻を合わせてください。

5. 秒針が2秒毎に動いている場合

- ・充電不足で二次電池の容量が少なくなってきたので『充電警告機能』が働いています。このような場合は「12. ソーラーパワーウオッチの充電時間の目安」を参照し早めに充電を行ってください。

【電池交換をしたあとは】

- ・電池交換をしたあとも、必ず「4. 基準位置合わせ」を参照して“オールリセット”および“基準位置合わせ”を行ってください。
この操作を行わないと、時計が正しく動かない場合があります。

16. お取り扱いに当たって

⚠ 警告 防水性能について

- 日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスクuba潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10／20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スクuba潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

名称	表示	仕様	使用例				
	文字板又は裏蓋		水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ポンベを使用するスクuba潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水	○	✗	✗	✗	✗
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水	○	○	✗	✗	✗
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	✗	✗

- 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。（1barは約1気圧に相当します）
- WATER RESIST (ANT) ×× barはW.R.×× barと表示している場合があります。

⚠ 注意

- りゅううずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅううずがねじ締めタイプであれば、しっかりと固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅううずやボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいだ後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
- 万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、ボタンなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意 バンドのお取り扱いについて（着脱時の注意）

- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ 注意 携帯時の注意

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ウレタンバンドは、衣類などの染料や汚れが付着し、除去できなくなる場合があります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。

⚠ 注意 時計は常に清潔に

- ケースとりゅうずの間にゴミや汚れが付着したまま放置しておくと、りゅうずが引き出しにくくなることがあります。時々、りゅうずを通常位置のままで空回りさせてゴミ、汚れを落としてください。
 - ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
 - かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。
- かぶれの原因は**
1. 金属、皮革アレルギー
 2. 時計本体およびバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
 - バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

<時計のお手入れ方法>

- ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- 皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
- 金属バンド／プラスチックバンド／ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 溶剤類(シンナー、ベンジンなど)の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

<ナチュライト付きの場合>

- 「ナチュライト」は、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な物質を使用した塗料です。
ナチュライトは、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。ただし、蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しづつ明るさ（輝度）は落ちていきます。また、光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。光が充分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

<温度について>

- -10°C ～ $+60^{\circ}\text{C}$ の温度範囲外では機能が低下したり、停止することがあります。製品仕様範囲外でのご使用はお避けください。

<磁気について>

- アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁料理器などに近づけないでください。

<静電気について>

- クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<ショックについて>

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色するがありますのでご注意ください。

<保管について>

- 長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。
- 時計を長期間ご使用にならない場合、できるだけ光が当たる場所で保管することをおすすめします。

17. 保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用部品の保有期間について>

当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・ボタン・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご転居・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社お問い合わせ窓口でご相談ください。

<定期点検(有償)について>

安全に永くご使用いただくために、2~3年に一度、点検(有償)を行ってください。

防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。

部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または最寄りの弊社お問い合わせ窓口でご相談ください。

<その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口でご相談ください。

18. 製品仕様

1. 機種：G90 *
 2. 型式：多針アナログソーラーパワーウオッチ
 3. 時間精度：平均月差 ±15秒 常温(5°C~35°C) 携帯時
 4. 作動温度範囲：-10°C~+60°C
 5. 表示機能：
 - ・時刻：基本時計(時、分、秒)
副時計(ローカルタイム：時、分、午前午後識別)
 - ・カレンダー：年(うるう年からの経過年)、月、日
 6. 付加機能：
 - ・ミニツツリピーター機能：現在時刻を音でお知らせします。
 - ・フルオートカレンダー機能：うるう年を含む2100年2月28日までの年、月、日が自動的に切り替わります。
 - ・デイリーアラーム機能：毎日設定時刻にアラームが鳴ります。
 - ・ローカルタイム機能：時差のある地域、外国の時刻を表示します。
(30分単位のセットができます)
 7. 持続時間：フル充電から充電不足で停止するまで：約9カ月
充電警告機能が作動してから停止するまで：約5日
 8. 使用電池：二次電池
- *製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・ローカルアラーム機能：ローカルタイムで設定した地域、外国の時刻を基準に、毎日設定時刻にアラームが鳴ります。
 - ・秒修正機能：基本時計と副時計の秒を同時に基準時計の秒に合わせます。
 - ・基準位置未完了警告機能：基準位置未設定のとき、『日&モード針』でお知らせします。
 - ・時刻修正未完了警告機能：基準位置設定後、基本時計と副時計の時刻を合わせなかった場合に、『日&モード針』でお知らせします。
 - ・基準位置確認：日&モード針、副時針、副分針、午前午後識別針の基準位置が確認できます。
 - ・充電警告機能：充電不足になると秒針が2秒運針し充電不足をお知らせします。
 - ・過充電防止機能：フル充電になると自動的に充電を停止します。